

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度第2回弘前市社会教育委員会議
開 催 年 月 日	平成26年3月7日(金)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時30分から15時30分まで
開 催 場 所	中央公民館岩木館 大研修室
議 長 等 の 氏 名	委員長 藤田 昇治
出 席 者	藤田委員長 一條副委員長 高田委員 三浦委員 三上委員 西塚委員 阿部委員 菊池委員
欠 席 者	花田委員 榎引委員
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	生涯学習課長 佐藤 賢也 課長補佐 庄司 輝昭 係長 木村 政巳智 主事 千葉 大慎
会 議 の 議 題	①弘前市子どもの読書活動推進計画(第2次)について ②平成26年度社会教育事業について ア) 主要事業について…資料No.4～No.18 イ) 社会教育関係団体等への補助金について…資料No.3 ③その他 ・社会教育委員の改選について ・社会教育関係職員合同会議日程・内容について(4月23日) …社教委のことば
会 議 結 果	意見や提案を踏まえ、第5章に計画の点検・評価の項目を入れ、目標に対する進捗状況を把握し、計画を着実に推進する。
会 議 資 料 の 名 称	弘前市子どもの読書活動推進計画 第2次(素案)・・・(No.1) 弘前市子どもの読書活動推進計画に対する意見・提案・・・(No.2) 平成26年度社会教育・文化事業関係補助金等一覧・・・(No.3) 平成26年度社会教育主要事業一覧・・・(No.4-0) 平成26年度主要事業調書・・・(No.4～No.18)

<p>会議内容</p> <p>( 発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等 )</p>	<p>案件：①弘前市子どもの読書活動推進計画(第2次)について</p> <p>~~~~~</p> <p>&lt;事務局より説明&gt;</p>
<p>委員</p>	<p>私が出した第3者委員会で評価したのかとの質問に対して、時間が無く大幅な修正を考えていないとの回答が残念です。取り組みが遅れたことを暗に認めています。今日の会議は何かと感じることを最初に話して、他の委員に振っていきたいです。</p>
<p>委員長</p>	<p>それは釈明を求めるのですか。</p>
<p>委員</p>	<p>ただの感想と受け取ってほしいです。</p>
<p>委員長</p>	<p>内容的なところはどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>どういう検証を5年間でしたのかと考えた時に、第2次計画では3つの基本方針を定めています。総括として評価がありません。特に気付いたのは、第2章を読んで具体的に市が何をやったかが読み取れず、3つの基本方針で、第1次を読むと各論、総論として基本方針がありますが精査されていません。子どもの読書環境の整備で、基本方針を受けた形の各論がどこかはっきりしません。2次も同じで、基本方針も変わっていません。大幅に変えるつもりはないとのことですが、計画は基本方針があり施策をやる形で整理しないと、読む方も、子どもの環境整備は何をやるのかと次のページを開いても見出しとして無く、ここは整理してもらいたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>環境整備とは、具体的にどんなことがありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>読書環境の整備ということで、確かに方針に対してこうしますという形ではありませんが、第4章の中でそれぞれに対応した施策として載せていて、蔵書の整備とかになります。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の内容に対して何かありますか。</p>

委員	<p>学校では朝の読書が広く普及し、学校図書を活用した授業にも取り組んでいて、蔵書数の学校図書標準達成に向けて、蔵書の整備がされているとありますが、実際のデータを見ると小学校4校・中学校5校が達成ですが、21年のデータでは小学校7校・中学校3校となっていて、小学校が3校減っています。</p>
事務局	<p>データのとおりであり、図書の廃棄等により、達成校が減少したものと考えられます。しかし、学校では蔵書の整備という点で底上げをしています。特に50%以下の低いところに優先的に購入しているので、全体の蔵書数は増えています。</p>
委員	<p>そういうところが計画では見えてこなくて、朝読書の数値も21年と比較してほとんど変わらないです。手話による読み聞かせ等を聴覚障がい者に対してやっているとか、具体的な話も無かったです。作ったのはいいが、実際にその活動がどのように成されたのかが今回の素案ではわかりづらく、市の施策として実施したことを十分入れてほしかったというのが感想であり意見です。</p>
委員長	<p>第1次から2次の評価は行政内部だけではなく、学校や保育所、図書館、幼稚園とか実際に子育てや子どもの教育、読書活動を推進する代表に集ってもらい議論・検証し、実践を分かりやすくすることが大事という問題意識があります。後半の文章で思うのは、保護者は子どもが読書することの重要性を分かっていないが、弘前の子供は、全国平均と比べて読書しているか、現状の数値化したものを把握していないと、到達点、改善点が見えてこない。保育所では、読み聞かせを定期的にして、子どもは本に慣れ親しんでいき、成長発達段階に応じて段々文字も読めるようになっていく。環境を整えることも大事ですが、頑張らなきゃいけないがスローガン化している気がします。</p>
事務局	<p>国の計画では、発達段階が進むにつれて読書離れが進む傾向があるとの記述があり、全国学力学習状況調査で、読書が好きですかという質問に対して、全国平均は小学校72.1%・中学校70%で、弘前市だと小・中とも72.3%というデータがあります。一概に発達段階が進むにつれて、読書離れが進んでいるとは言えない面もあります。</p>
委員	<p>関連して、大学生の4割が読書をしていない、特定の本が破</p>

損されているというショックなニュースもあった。これまで長い年月、仕事上で読書に関わってきたが、読書する子どもや読書冊数の客観的な数字が上がったことがなく、読書離れ、活字離れという表現が使われてきました。本をただ与えればいいのではなく、読む指導が大切だということで司書教諭・司書を置くこともありました。学校図書館の人的配置は予算的に厳しいことを解決しなければ、下がる一方ではないでしょうか。計画では0歳児からの読書とか、身近に本をとという提案をしているが、実現するには難しいと思っています。

委員

時間はあっても携帯電話などを操作して、本をゆっくりという学生や大人が少なくなっています。小学校高学年や中学生までは、まだ機会を与えると伝記とかを見えています。生活環境も変わりデータ化されていますが、語り継がれてきた本の方が親しみやすいと食欲に思っています。

委員

いつも思うことだが、計画を作ることがゴールになっています。出来上がった計画は色々な面に配慮しながら、内容を取り入れたと感じました。ただ計画を立てるのは、目標を設定して達成するためであり、それが市民の生活の中に活かされていなければならないので、現状を知るための数値を入れるようお願いしましたが、意見は通らなかったと思っています。この計画が出来上がり、ホームページ上で見られますが、一般市民は見ない。読書が良くないという人は絶対いないが、話し合いも何もままに進めることは危険で、何故必要なのか分かった時点で動き出すことが必要だと考えます。納得すると、学校や公民館も動き出し、地域や家庭にも波及します。いろんな例を示して盛り上げていかないと、生きた計画にならないと感じました。今更達成目標を決めるとか、文章を入れるのはかなり難しいと思うので、行政が関係する機関や公民館長の集まりとかで、読書は今後どうしても必要な事項で、今年こういうことに取り組むとかの例示をしながら、一緒に動かしていただきたいと感じました。

委員

こどもの読書活動推進についての基本方針はその通りですが、どういう活動をするかが大事です。司書が関心を持たせ、子どもが機会を得る・知ることが大事なので、学校図書室や市立図書館に司書が居るのが当たり前だと思います。小学校の朝読書よりも、授業の中に読書を入れると本を読む機会となり、

	<p>楽しさを教える環境整備となると思います。どこの学校でも図書室があるが、簡単な本の修理や整理等は子供たちにやらせ、常に一冊一冊の本は大事な物で、良い為になるものだという関わりを持たせていかないといけないと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>同感したのが、授業の中でもっと本を活用し親しむことが大事だということです。一方で気になることは、もっと保護者が本を読むことが大事なので、機会を持たせるとあるが、数値目標を明確し、アイデアを生むには、実態を把握するデータが必要だと感じました。本を選ぶのは司書の専門ですが、幼稚園の先生や読み聞かせのグループ、読書に関わる人も本を選ぶ視点や情報を共有して、選ぶ・買う段階に入れてほしいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>知能偏差値と学力偏差値には、相関関係があると言われていきます。つまり知能が高い人は、学力も高いというもので、数値化されています。何十年も前から、読書と学力偏差値にも強い相関関係があると言われていきますが、数値化に至っていません。</p>
<p>委員長</p>	<p>いろんな角度から意見が出たので参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>~~~~~</p> <p>案件：②平成26年度社会教育事業について ア) 主要事業について…資料No.4～No.18</p> <p>&lt;各関係課より、主要事業について説明&gt;</p>
<p>委員長</p>	<p>主要事業の説明いただきましたが、質問や意見ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>図書館に読書感想文がありますが、図書館の予算ですか。</p>
<p>弘前図書館</p>	<p>図書館の予算です。</p>
<p>委員</p>	<p>こどもは遊びの中で、学ぶことも多い。ブックスタートで0歳児に本を与えるという事ですが、工夫し継続していくことが大事だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>子ども会活動支援事業に関して、補助金には復興枠などがありますが、読書活動枠があれば、今回の読書計画と子ども会や</p>

	地域が連動でき、より良いものになるのではないかと。
委員長	その事業は書類審査ですか。
中央公民館	審査会で点数化し、採択事業を決定しています。
委員長	市民も審査に参加できる仕組みをつくり、事業終了後に成果を市民に報告できるものがないと感じています。
委員	中学校を支援する人材バンク活用事業で、登録されているのは何人位ですか。
中央公民館	110人位で、各学区に在住の方をお願いしているので、学区により活用に差があります。また、26年度からは謝金を支払うこととしています。
委員	どのように活用されていますか。
中央公民館	学校の総合的学習の時間などに活用されています。
委員長	他にございませんか。
委員	観劇教室で市民会館の会場費は払うのですか。
事務局	公民館等は、団体により免除規定がありますが、市民会館は貸館なので会場借上料を支払います。 ~~~~~ イ) 社会教育関係団体等への補助金について…資料No.3
委員長	補助金について説明をお願いします。  <事務局より、補助金対象の12事業に説明>
委員長	ご意見ご質問ございますか。
委員	市連合PTA事業費補助金について、青少年健全育成事業にどのような取組をしているか見えてこないなので、指導をしてほしいです。

委員長	<p>議事は、以上にしたいと思います。</p> <p>~~~~~</p> <p>&lt;事務連絡&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・社会教育委員の任期について</li><li>・社会教育職員合同会議について</li><li>・学区まなびいの資料配布</li></ul> <p>閉 会</p>
その他必要事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・会議は公開</li></ul>